



白球追いかけて 掴み取った夏の勝利

勝利

突き刺すような日差しの中、第104回全国高等学校野球選手権静岡大会が7月9日に開幕しました。川根高校は初戦、焼津球場で焼津中央高校と対戦しました。同点で迎えた8回裏の攻撃、打線が奮起し2点を追加して3対1で勝利しました。

続く2回戦は17日、同球場で強豪三島北高校と激突。手に汗握る投手戦が展開されました。均衡が崩れたのは4回、三島北高校に2点を先制されました。逆転に望みをつなぐと奮闘するも0対2で惜しくも敗れました。それでも最後まで笑顔でプレーを続けた選手たちに、応援席から大きな拍手が送られました。

試合を終えて森下和光監督は「練習や学校生活で培った『粘り強さ』が随所にみられた。勝つ大切さを学んだ選手たちには、今後自身の課題に対して挑戦を続けてほしい」と激励しました。

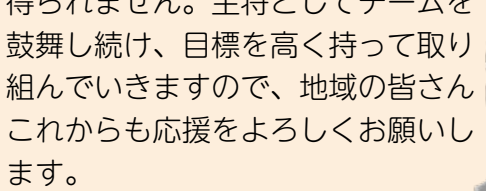
ひたむきに白球を追いかけてつかなだ勝利と味わった悔しさ。この短くも暑い夏は、きっと選手たちにとって忘れられない夏になるはずです。そして、先輩たちが魅せた勇姿や涙は、後輩たちの瞳に刻み込まれ、新体制への一歩につながっていくことでしょう。

チームのスローガンは「挑戦者」次の試合に向けて全力で取り組む

この夏の『勝利』は私たちにとって大きなモチベーションになります。ですが来年に向けて同じ努力を続けても、今年以上の結果は得られません。主将としてチームを鼓舞し続け、目標を高く持って取り組んでいきますので、地域の皆さんこれからも応援をよろしくお願ひします。

後輩たちには野球ができる幸せを感じて、日々努力を続けてほしい

小学生から野球を続けてこられたのは、支えてくれた家族や地域の皆さん、共に戦ってきた仲間が存在があったからです。野球を通して出会った人たちに感謝したいです。新体制になって後輩たちには、野球ができる幸せを感じながら、自分を律して、目標達成に向けて努力を続けてほしいと思います。



2年 主将 塩澤 大己さん(伊豆市)



3年 澤本 京太さん(高郷区)